

資料番号:052127 安全法関係資料「資料リスト」

| 資料番号 サブナンバー | 資料の名称 | 内容 その他 | 関係者 | 作成者 | 作成時期 | 備考 |
|-----------------|--|--|--|------------|-------------------------|---------------------|
| 052127- 0001 | 旅客船計画審議委員会(ファイル) | 宛先に山県昌夫氏の名前が書かれているので同委員会メンバーの山県氏が所持しておられたものと推定する。 この資料は、敗戦直後の著しい船舶不足状況の中で国内航路船の不足を急遽補うために、占領軍司令部GHQが28隻の急速建造を指示したことに対応して、如何なる船を設計・建造したらよいかを指導するために運輸省の懇請により造船聯合会に設けられた委員会の記録である。 この中で復原性基準作成の協議スタート。 | 山県昌夫 小野暢三 水品技官 榊原教授 松本教授ほか | 山県昌夫 | 昭和21年9月 ~ 昭和23年5月 | TIFFコピー作成 PDFも作成 |
| 0002 | 委嘱状(造船研究協会長より) | 船舶安全法付属規程改正に関し依頼の件 | 元良誠三 | 加藤五一 | 不明 | |
| 0003 | 旅客船復原性基準試案:第1集 平水船舶-I | 船舶安全法関係法令改正準備室発行 | | 同準備室 | 昭和28年8月 | ガリ版 B5x45p |
| 0004 | 同上 :第4集 航洋船の復原性・安定性基準 | 同上 | | 同上 | 昭和29年8月 | B5x51p |
| 0005 | 復原性斑 :第5集 旅客船復原性能基準 | 同上 | | 同上 | 昭和30年5月 | B5x21p |
| 0006 | Proposed Standard for Passenger Ship(Part-1:Smooth Water Area) | 造船協会春期講演会にて講演 | | 佐藤、山内元良、内田 | 昭和29年5月 | 3部あり |
| 0007 | Do.(Part-2 Small Crafts) | 同上 | | 同上 | 同上 | 同上 |
| 0008 | 船舶復原性規則について | 復原性規則に関するサマリー、要約版 | | 内田の判あり | 昭和32年12月 | 原紙あり |
| 0009 | 表題不明(表紙一部破損) | (結言に'著者ら'とある。)手書き、青焼 | | 元良誠三 | 昭和33年2月 | A4x25枚 |
| 0010 | 題名なし | (小型客船復原性能調査取り纏め表) | | | | A4x5枚 |
| 0011 | 安全法資料 4 | (白焼き) | | | | A4x5枚、3部 |
| 0012 | 芦ノ湖遊覧船復原性試験結果 | (昭和28.6. 4~5日実施) | 運輸省秋葉、 佐藤、内田 技官 東大元 良助教授 | | | A4x5枚 |
| 0013 | 計算メモ類: | あしのこ丸、竜宮丸、金時丸に関するもの | | | | |